

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
田辺市	300004	1	H20～H23	H20
活性化計画の区域				
本宮地区は、面積204.06km ² を有し田辺市全域の約20%を占め、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に登録された熊野本宮大社や熊野古道をはじめ、熊野本宮温泉郷等の観光資源があり、都市と農山村との地域間交流を促進することにより、世界遺産登録以後、平成17年をピークに減少傾向にある入り込み客数を引き上げ、持続させることを目標として策定したものである。				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B / A	備考
交流人口の増加	5,520,000	5,153,029	93%	

(コメント)
平成20年から平成22年の3年間は、本宮地域への入り込み客数の年間目標である1,380千人を上廻ったが、平成23年は、東日本大震災による影響や台風12号による災害等により、入り込み客数は目標に届かなかった。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
地域資源活用 交流促進施設	本宮ビジターセンター(仮称)の建設 ※【現在】世界遺産熊野本宮館(2棟 1,380m ²)			田辺市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
田辺市	平成20年度	平成21年度	平成21年7月～	
事業の効果				
世界遺産熊野本宮館において世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」及び本宮地域の地域資源の常設展示・企画展示、本宮地域の総合案内及び情報発信を通じ、都市と農山村との地域間交流を促進することにより、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」及び本宮地域の観光資源への感心が更に高まり、入り込み客数の増加に繋がった。				

3 総合評価

平成20年から平成22年までの3年間は、当初年間目標の入り込み客数1,380千人を達成できた。しかし、平成23年は、東日本大震災や9月の台風12号災害により目標を達成することができなかった。
現在、世界遺産熊野本宮館は、今年の台風12号災害により被災し復旧工事を進めている。復旧後は目標達成に向け、更なる本宮地域の総合案内及び情報発信等を実施したい。
なお、当該施設は、平成24年12月の開館を予定している。

4 第三者の意見

世界遺産熊野本宮館の開館に伴い、本宮地域における都市と農山村との地域間交流拠点として情報発信等を積極的に実施した結果、平成20年から平成22年の3年間について年間目標の1,380千人を達成できたことは、評価できると思います。
平成23年9月の台風12号災害により被災し現在は休館中であるが、開館後は交流の拠点として本宮地域の活性化に更なる努力をして頂きたい。
熊野本宮観光協会会長 菊池 博子